

平成 24 年 3 月期 第 1 四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成 23 年 7 月 29 日

上場会社名	新明和工業株式会社	上場取引所	東・大
コード番号	7224	URL	<a href="http://www.shinmaywa.co.jp/">http://www.shinmaywa.co.jp/</a>
代表者 (役職名)	取締役社長	(氏名)	大西 良弘
問合せ先責任者 (役職名)	社長室長	(氏名)	実平 典子 (TEL)0798-56-5002
四半期報告書提出予定日	平成 23 年 8 月 8 日	配当支払開始予定日	—
四半期決算補足説明資料作成の有無	: 無		
四半期決算説明会開催の有無	: 無		

(百万円未満切捨て)

1. 平成 24 年 3 月期第 1 四半期の連結業績 (平成 23 年 4 月 1 日～平成 23 年 6 月 30 日)

(1) 連結経営成績 (累計) (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
24 年 3 月期第 1 四半期	20,594	△4.5	△1,175	—	△1,404	—	△1,833	—
23 年 3 月期第 1 四半期	21,563	2.3	△301	—	△575	—	△448	—

(注) 包括利益 24 年 3 月期第 1 四半期 △1,806 百万円 (—%) 23 年 3 月期第 1 四半期 △575 百万円 (—%)

	1 株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1 株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
24 年 3 月期第 1 四半期	△18.38	—
23 年 3 月期第 1 四半期	△4.49	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
24 年 3 月期第 1 四半期	123,834	78,516	62.1
23 年 3 月期	130,273	80,833	60.8

(参考)自己資本 24 年 3 月期第 1 四半期 76,868 百万円 23 年 3 月期 79,153 百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第 1 四半期末	第 2 四半期末	第 3 四半期末	期 末	合 計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
23 年 3 月期	—	5.00	—	5.00	10.00
24 年 3 月期	—	—	—	—	—
24 年 3 月期(予想)	—	5.00	—	5.00	10.00

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成 24 年 3 月期の連結業績予想 (平成 23 年 4 月 1 日～平成 24 年 3 月 31 日)

(%表示は、通期は対前期、第 2 四半期(累計)は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1 株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第 2 四半期(累計)	46,000	△4.5	△1,700	—	△1,500	—	△1,900	—	△19.04
通 期	109,000	1.7	1,000	△39.3	1,400	2.0	500	—	5.01

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

#### 4. その他

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無  
新規 一社 、除外 一社

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	24年3月期1Q	119,727,565株	23年3月期	119,727,565株
② 期末自己株式数	24年3月期1Q	19,960,021株	23年3月期	19,958,438株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	24年3月期1Q	99,768,585株	23年3月期1Q	99,784,078株

#### ※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

#### ※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

【添付資料】

添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	P. 2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	P. 2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	P. 3
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	P. 3
2. サマリー情報（その他）に関する事項	P. 3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	P. 3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	P. 3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	P. 3
3. 四半期連結財務諸表	P. 4
(1) 四半期連結貸借対照表	P. 4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	P. 6
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	P. 8
(4) 継続企業の前提に関する注記	P. 9
(5) セグメント情報	P. 9
(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	P. 9

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第1四半期連結累計期間におけるわが国経済は、東日本大震災の発生に伴い部品の製造・供給が滞るなど製造業を中心に先行き不透明な状態が続いたものの、企業努力による事態の收拾が図られるなか、電力供給の制約や海外経済の回復鈍化、雇用情勢の悪化など、本格回復を抑制する問題を抱えた状態で推移いたしました。

この中で当社グループは、製造業として「製品力の醸成」と「生産性の改善」に注力するとともに、経営課題である収益性の改善に向け、各事業の将来性を見極めや強化すべき事業に対して経営資源の集中投下に努めております。

当第1四半期までの業績につきましては、特装車セグメントにおいて中小型トラックを対象とした自動車排出ガス規制強化の適用を前に小型ダンプトラックの駆け込み需要が発生し、東日本大震災で破損した車両の代替需要がある一方で、特装車向けのシャシが予定どおり入荷せず、加えて前期新設案件の受注が振るわなかった機械式駐車設備の売上が減少したことなどから、全体の受注高は23,270百万円(前年同期比2.0%増)、売上高は20,594百万円(前年同期比4.5%減)となりました。

損益面は、売上高の減少や円高の影響を受け、営業損益は1,175百万円の損失、経常損益は1,404百万円の損失と前年同期に比べ大幅に悪化し、当第1四半期純損益も1,833百万円の損失となりました。

当社グループのセグメント別経営成績の概況は次のとおりであります。なお、従来「産機・環境システム事業」に含めていた航空旅客搭乗橋の製造・販売等を「パーキングシステム事業」に再編しております。この変更に伴い、セグメント別経営成績の前年同期比較については、組替後で表示しております。また、各セグメントの受注高及び売上高には、セグメント間の内部受注高及び内部売上高を含んでおります。

### 航空機

防衛省向けでは、次期固定翼哨戒機「XP-1」の量産品を受注した前年同期と比べて受注は減少いたしましたが、US-2型救難飛行艇の製造作業が増加したため、売上は前年同期より増加いたしました。

一方、民需関連は、円高の影響を受けたものの、ボーイング社「777」向け翼胴フェアリングの納入機数が増加したことなどから、受注、売上いずれも増加いたしました。

この結果、当セグメントの受注高は2,203百万円(前年同期比44.5%増)、売上高は5,817百万円(前年同期比51.6%増)となりました。

### 特装車

車体等の製造販売は、中小型トラックを対象とした自動車排出ガス規制強化の適用を前に、小型ダンプトラックで駆け込み需要が発生し、また、震災で破損した車両の代替需要があったものの、シャシが計画どおり入荷されるようになるまで相当の期間を要した結果、受注は増加したものの売上は減少いたしました。

保守・修理事業は、中古特装車の販売が増加し、部品販売も堅調に推移したことから、受注、売上が増加いたしました。

また、林業用機械等も受注、売上が増加いたしました。

この結果、当セグメントの受注高は10,356百万円(前年同期比16.2%増)、売上高は7,063百万円(前年同期比6.5%減)となりました。

### 産機・環境システム

流体製品は、公共市場の低迷に震災が追い打ちをかける中、受注は前年同期と同水準を維持したものの、売上は減少いたしました。

一方、メカトロニクス製品は、主力製品である自動電線処理機が震災の影響による自動車関連の生産調整の影響を受けたことなどから、受注、売上ともに減少いたしました。また、環境関連事業は、受注、売上ともに減少いたしました。

この結果、当セグメントの受注高は5,165百万円(前年同期比12.7%減)、売上高は3,209百万円(前年同期比14.9%減)となりました。

### パーキングシステム

機械式駐車設備は、前期に新設案件の受注が振るわなかったことに加えて、震災発生により高層物件に対する動きが鈍化しており、その結果、受注、売上ともに減少いたしました。一方、リニューアル事業は、受注は増加し売上は減少したものの、保守事業は前年同期と同水準を維持いたしました。

また、今期から当セグメントに変更した航空旅客搭乗橋「パックスウェイ」は、受注、売上ともに減少いたしました。

この結果、当セグメントの受注高は4,085百万円(前年同期比9.0%増)、売上高は3,310百万円(前年同期比24.3%減)となりました。

### その他

建設事業は、大口建築工事の失注や計画中止により受注、売上ともに減少いたしました。

この結果、当セグメントの受注高は2,119百万円(前年同期比32.1%減)、売上高は1,693百万円(前年同期比31.9%減)となりました。

### (2) 連結財政状態に関する定性的情報

当第1四半期末における総資産は、前連結会計年度末に比べ6,439百万円減少し123,834百万円となりました。これは、売上債権が減少したことなどによるものであります。負債は、前連結会計年度末に比べ4,123百万円減少し45,317百万円となりました。これは、仕入債務が減少したことなどによるものであります。純資産は、前連結会計年度末に比べ2,316百万円減少し78,516百万円となりました。これは四半期純損失を計上したことや配当金の支払があったことなどによるものであります。これらの結果、自己資本比率は、前連結会計年度末の60.8%から62.1%に上昇いたしました。

### (3) 連結業績予想に関する定性的情報

平成24年3月期の連結業績予想につきましては、平成23年6月24日に公表した業績予想から変更しておりません。

## 2. サマリー情報(その他)に関する事項

### (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

### (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

### (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

3. 四半期連結財務諸表  
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成23年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成23年6月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	17,150	22,273
受取手形及び売掛金	46,370	32,208
商品及び製品	1,884	2,223
仕掛品	19,960	21,631
原材料及び貯蔵品	9,298	9,747
販売用不動産	93	93
その他	3,894	4,321
貸倒引当金	△45	△35
流動資産合計	98,606	92,464
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	10,280	10,088
その他(純額)	10,687	10,555
有形固定資産合計	20,968	20,643
無形固定資産		
	980	912
投資その他の資産		
その他	9,792	9,885
貸倒引当金	△74	△70
投資その他の資産合計	9,718	9,814
固定資産合計	31,667	31,370
資産合計	130,273	123,834

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成23年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成23年6月30日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	16,795	13,353
短期借入金	6,000	6,000
1年内返済予定の長期借入金	2,000	2,000
未払法人税等	453	164
製品保証引当金	15	15
工事損失引当金	1,362	1,697
その他	8,611	7,951
流動負債合計	35,238	31,182
固定負債		
長期借入金	12	12
退職給付引当金	7,970	8,034
役員退職慰労引当金	484	382
再評価に係る繰延税金負債	62	62
負ののれん	239	203
その他	5,432	5,439
固定負債合計	14,201	14,135
負債合計	49,440	45,317
純資産の部		
株主資本		
資本金	15,981	15,981
資本剰余金	15,737	15,737
利益剰余金	55,897	53,565
自己株式	△8,202	△8,202
株主資本合計	79,414	77,081
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	451	490
土地再評価差額金	△389	△389
為替換算調整勘定	△324	△314
その他の包括利益累計額合計	△261	△213
少数株主持分	1,680	1,648
純資産合計	80,833	78,516
負債純資産合計	130,273	123,834

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書  
 四半期連結損益計算書  
 第1四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年6月30日)
売上高	21,563	20,594
売上原価	18,321	18,310
売上総利益	3,242	2,284
販売費及び一般管理費	3,543	3,460
営業損失(△)	△301	△1,175
営業外収益		
受取利息	4	7
受取配当金	20	23
負ののれん償却額	36	36
その他	32	18
営業外収益合計	93	86
営業外費用		
支払利息	22	16
持分法による投資損失	6	14
為替差損	303	256
その他	35	27
営業外費用合計	368	315
経常損失(△)	△575	△1,404
特別利益		
貸倒引当金戻入額	14	—
投資有価証券売却益	12	—
ゴルフ会員権売却益	—	5
特別利益合計	26	5
特別損失		
固定資産処分損	28	2
災害による損失	—	50
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	76	—
特別損失合計	104	52
税金等調整前四半期純損失(△)	△653	△1,451
法人税、住民税及び事業税	110	177
法人税等調整額	△309	227
法人税等合計	△198	404
少数株主損益調整前四半期純損失(△)	△454	△1,856
少数株主損失(△)	△6	△23
四半期純損失(△)	△448	△1,833



四半期連結包括利益計算書  
第1四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年6月30日)
少数株主損益調整前四半期純損失(△)	△454	△1,856
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△105	38
為替換算調整勘定	△19	△2
持分法適用会社に対する持分相当額	4	14
その他の包括利益合計	△120	49
四半期包括利益	△575	△1,806
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△567	△1,785
少数株主に係る四半期包括利益	△7	△21

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年6月30日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前四半期純損失(△)	△653	△1,451
減価償却費	767	731
売上債権の増減額(△は増加)	7,522	14,178
たな卸資産の増減額(△は増加)	392	△2,417
仕入債務の増減額(△は減少)	△2,792	△3,511
その他	△1,795	△789
小計	3,440	6,739
利息及び配当金の受取額	25	32
利息の支払額	△11	△12
法人税等の支払額	△672	△578
営業活動によるキャッシュ・フロー	2,781	6,181
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
定期預金の払戻による収入	100	—
有形固定資産の取得による支出	△257	△488
無形固定資産の取得による支出	△13	△45
投資有価証券の売却による収入	12	—
その他	△0	△9
投資活動によるキャッシュ・フロー	△158	△543
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
配当金の支払額	△498	△498
少数株主への配当金の支払額	△10	△10
その他	6	△41
財務活動によるキャッシュ・フロー	△503	△550
現金及び現金同等物に係る換算差額	3	36
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	2,122	5,122
現金及び現金同等物の期首残高	17,448	17,150
現金及び現金同等物の四半期末残高	19,571	22,273

(4) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(5) セグメント情報

I 前第1四半期連結累計期間(自平成22年4月1日 至平成22年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント					その他 (注1)	合計	調整額 (注2)	四半期連結 損益計算書 計上額 (注3)
	航空機	特装車	産機・環境 システム	パーキング システム	計				
売上高									
外部顧客への売上高	3,838	7,501	3,767	4,371	19,479	2,084	21,563	—	21,563
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	53	1	2	57	402	459	△ 459	—
計	3,838	7,554	3,769	4,373	19,536	2,486	22,023	△ 459	21,563
セグメント利益又は セグメント損失(△)	85	△ 158	△ 216	619	331	40	371	△ 673	△ 301

(注) 1. 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、建設事業、不動産事業、ソフトウェア事業等を含んでおります。

2. セグメント利益の調整額△673百万円には、セグメント間取引消去8百万円、各報告セグメントに配分していない全社費用△681百万円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費及び基礎的試験研究費であります。

3. セグメント利益又はセグメント損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業損失と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

II 当第1四半期連結累計期間(自平成23年4月1日 至平成23年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント					その他 (注1)	合計	調整額 (注2)	四半期連結 損益計算書 計上額 (注3)
	航空機	特装車	産機・環境 システム	パーキング システム	計				
売上高									
外部顧客への売上高	5,815	7,045	3,207	3,305	19,374	1,220	20,594	—	20,594
セグメント間の内部 売上高又は振替高	2	17	1	4	25	473	499	△ 499	—
計	5,817	7,063	3,209	3,310	19,400	1,693	21,094	△ 499	20,594
セグメント利益又は セグメント損失(△)	96	△ 174	△ 401	115	△ 363	△ 118	△ 481	△ 694	△ 1,175

(注) 1. 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、建設事業、不動産事業、ソフトウェア事業等を含んでおります。

2. セグメント利益の調整額△694百万円には、セグメント間取引消去6百万円、各報告セグメントに配分していない全社費用△701百万円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費及び基礎的試験研究費であります。

3. セグメント利益又はセグメント損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業損失と調整を行っております。

2. 報告セグメントの変更等に関する事項

平成23年4月1日付の組織変更に伴い、従来「産機・環境システム事業」に含めていた航空旅客搭乗橋の製造・販売等を「パーキングシステム事業」に再編しております。なお、前第1四半期連結累計期間のセグメント情報は、当第1四半期連結累計期間において用いた製品及びサービスの区分に基づき作成しております。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。